

家具転倒防止器具のテストとアンケート

過去の地震では室内の家具類が転倒し、大けがや死亡につながった事例の多さから「家具転倒防止」について市民を対象に調査をした。主な調査内容は①家具転倒防止器具のモニター設置テスト②家具転倒防止に関するアンケート調査と併せて「新潟市家具転倒防止補助事業」について市民の周知度を調べた。

モニターの設置テスト結果

器具の取付けはほぼ一人で設置でき、取付け時間は 30 分以内と比較的に簡単に取付けられる商品が多い。

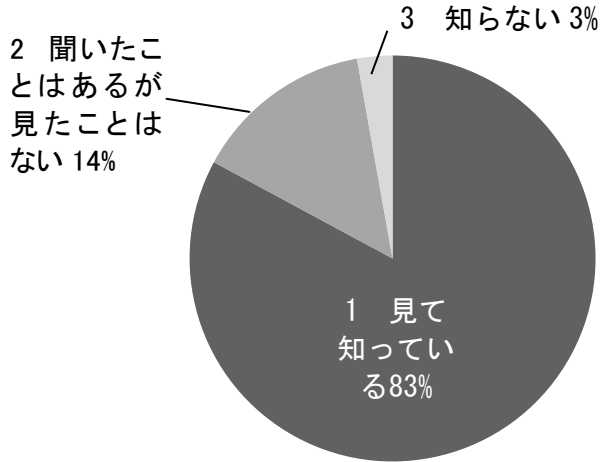
家具転倒防止圧着ポール L	4,980 円	ふんばる君 120	1,280 円
			
つっぱり棒式	ネジ止めすることなく、家具と天井の隙間に設置する棒状タイプ	ストッパー式	家具の前下部にくさび状に挟み込み、家具を壁側に傾斜させるタイプ
家具移動などの下準備がいらす、家具を傷つけないのでよい。天井の梁を探すのに棒や踏み台が必要。		設置作業は簡単で、設置後外見から見えなくてよい。家具を傾ける力のない人は協力者を求めたり、家具内のものを出す作業がしやすい。	

家具転倒防止 L 字金具	980 円	T 型固定式不動王	3,280 円
			
L 型家具	家具と壁を木ネジ、ボルトによって固定するタイプ	T 型粘着式	粘着性のゲル状のもので、家具と壁などを接着させるタイプ
キリやドライバーなど工具が必要。高所での作業のため 70 代女性は取付けできなかった。2×4 建築の家では備品のネジクギでは短いので、長いものに変える必要がある。		家具と壁の間に器具を挟み込むために、家具移動が必要。家具内のものを出す作業がしやすい。商品には耐久年数の記載がある。	

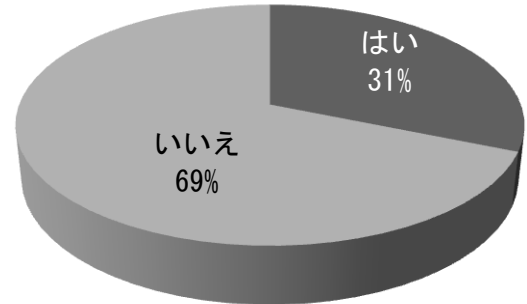
家具転倒防止に関する市民へのアンケート結果

実施期間 平成 25 年 7 月～平成 25 年 10 月
対象 消費者協会会員と新潟市一般市民 500 人
回答者 356 人(回収率 71%)

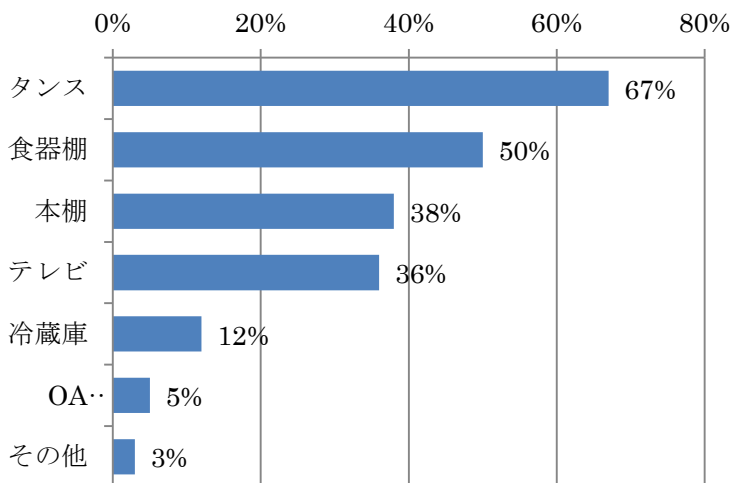
家具転倒防止器具があることを知っていますか



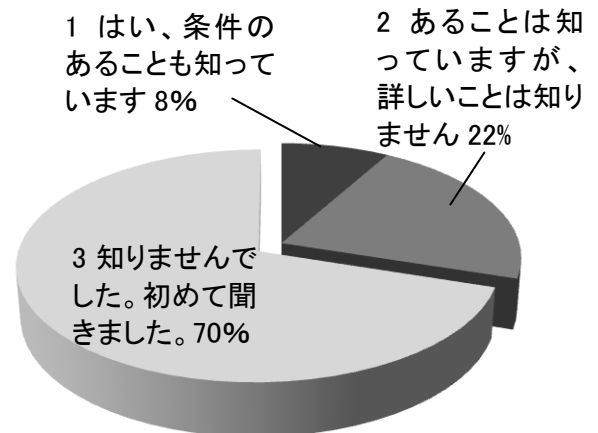
家具転倒防止器具を設置していますか



どんな家具に取り付けました



「新潟市家具転倒防止補助事業」を知っていますか。



<設置時の参考にしてほしいこと>

- ①家の造りや家具の置き場所により器具を選択するとよい。
(例)・取り付け部分に梁や鴨井がない。(商品No.1、3 は不適応)
・家具の裏面に柱があり壁との隙間があり過ぎる。(商品No.3、4 は不適応)
- ②床は平らな方がよい。木やフローリング面が効果的。畳やカーペット等は、クッション性があり効果が異なる場合がある。
- ③器具によっては家具の移動もあるので複数の家具が密着していると移動が難しい。
- ④安全性を高めるには家具の上下に器具を設置したり、他器具との併用がよい。
(例)・2 段家具の場合は、「上下連結器具」を取付ける。
・開き戸には、「とびらロック」や「ガラス飛散防止フィルム」などを使用するとよい。
- ⑤設置後も大きな地震の後には、安全の為に点検をおこなうとよい